

【第3回総合計画策定審議会】

■日時：令和4年6月6日（月）14:00～16:00

■場所：中城村役場2階会議室2-3

■出欠：

- ・出席：神谷委員、新垣委員、比嘉（善）委員、名幸委員、安田委員、平安委員、米須委員、儀間委員
比嘉（春）委員、伊東委員、伊佐委員
- ・欠席：山城委員、与那嶺委員、張世委員
- ・事務局：企画課、ST

■次第：

1. 開 会

2. 審 議

①前回委員会の振り返り 【資料1：指摘と対応方針】

②アンケートからみる中城村の課題分析

【資料2：アンケートからみる中城村の課題分析】

③総合計画基本構想について

【資料3：総合計画の構成について】

【資料4：基本構想（案）】

【参考資料1：第2回審議会議事録】

【参考資料2：国道329号西原バイパス（仮称）の建設計画について】

3. 次回審議会の開催について

4. 閉 会



■議事録：

①前回委員会の指摘事項と対応方針【説明：企画課比嘉係長】

→意見なし

②アンケート【説明：企画課比嘉係長】 ※P3のみ資料差し替え

神谷会長	質問、コメントあればお願いします。後程説明すると言っていた資料1の質問の回答としてはどうなるのか。
事務局（比嘉係長）	自由記述を読み込んでいく中では、中学生や高校生の塾や習い事への送迎やバス代などの経済的な負担の声があった。
神谷会長	資料を見ると、子育て世帯全体の4割程度が経済的負担が大きい、仕事との両立が難しいと回答している。それを家族構成でみると、親と子どものみの世帯ではほぼ100%が経済的負担が大きく仕事との両立が難しいと回答している。一方で3世代になるとそれぞれ25%くらいで、シングル世帯になると40%くらい。つまりシングル世帯の方が困っていないという事になる。子どもの数でみると3人以上になると過半数が経済的負担が大きいと回答している。
事務局（ST 森口）	アンケートの自由記述を読むと、公共の学校へ対する経済的負担よりも、塾や習い事への回答が多い印象を受ける。合わせて見ると、経済的にある程度余裕がある家庭でも、習い事等に通わせる際にお金がかかっているという理由で、経済的に負担であるに回答された方が一定数いるのではないかと考えられる。逆に言うとシングル世帯や経済的にあまり余裕のない世帯については、習い事などを除けば公的な補助の部分である程度まかなえているのではないかと推察はできる。経済的負担というのがどこの部分の経済的負担なのかまではアンケートで追えていない。
神谷会長	3回アンケートをしたのは、それをもとに村民が求める中城村を把握して具体的な施策につなげていくため。一般的に考えると、シングル世帯が一番経済的負担が大きいのかと思うが、アンケートを見るとそうでもない。子育て世帯が経済的負担だと思っていることについては別途でヒアリングなどをした方がいいのではないかと。自由記述を見て塾や習い事だという判断をしても良いのか。公的に村がサポートしなければならない経済的負担なのか、そうではない部分なのかをきちんと把握したほうが良い。
比嘉春委員	保育料無償化は3歳児以上が対象。0～2歳児は保育料がかかる。所得には応じたものではあるが、年子などになると2番目が半額でも、高い世帯は高いと思う。
伊東委員	自分もアンケートを回答したが、1～8までどれも該当すると思う。明確にこれというものがなくても、不安かと聞かれればなんとなく不安だなと回答してしまう内容だと思うので、もう少し内容に踏み込んだものにしてもらえば、本当に何に困っているのかがわかるのではないかと。経済的な面でいうと食べていくにも不安なのか、幼児教育やってみたいけどそこまでは難しいという程度なのか、踏み込んだ形で聞いてもらえたら、回答者自身も何に困っているのかが整理できて答えやすくなるのでは。
神谷会長	村の課題の中で「働く場所が少ない」という回答が多くなっているが、男女でも考える必要がある。参考資料をみると、中城の人が働いているのは圧倒的に村外が多い。中城に住むと決めた時点で、旦那さんの仕事は最初から車通勤など考えていると思うが、子育て中の女性が子育てをしながらパートで働こうと思ったときに村内に働く場所がないという解釈ができる可能性はないのか。正職員を対象とするのかパートを対象とするのかで施策も変わってくる。性別でクロス集計をしてみて確認してみたら。課題として出たものをそのままにしておくこともできない。ヒアリングなどでそこまで深刻な話ではないと分かれば、実情に合わせた

	施策にすればよいので、アンケート結果を村としてどう解釈して、どういう施策につなげていくという視点は持っていた方がよい。経済的に大変かと聞かれたら、大変だという世帯の方が多くはなるだろう。のちほど気づいた点があれば戻ってもらって構わないので、次に行きたいと思う。
--	--

③総合計画の構成について ④基本構想について【説明：企画課比嘉係長】

神谷会長	基本構想部分について説明をいただいた。ご意見等お願いします。
平安委員	P8 目指す村の姿1。「子育てが終わるまで」はどこまでか。
事務局（比嘉係長）	村としての子育て期間は18歳までで考えている。高校を卒業するまで。
平安委員	承知した。その下の「子どもの豊かな学びを支援します」の中で施設・備品の充実があるが、直接子どもへ支援ではなく、学校や保育園への施設・備品としての補助と考えているか。
事務局（比嘉係長）	補助金という形もあると思うが、具体的にこういった形の補助が出来るかは、担当課の実施計画になる。色々な形態を含めて補助していきますという事。
平安委員	県外の交流がある園での話だが、園で町長さんにデジタル機器（タブレット）が欲しいという要望を伝えたら、町内の全部の園に配布してくれたと言っていた。こういう場合、最初の年は「町からもらったから大事に使おうね」という話を子どもたちにすると思うが、年月が経つにつれて、そこにあるのが当たり前のものになってしまう。村としても子育て支援に協力したいと思うからこそ備品の充実なども取り組んでくれるのだと思うが、個人的には子ども達一人ひとりへ何かを支援することを考えたらどうかと思っている。お金でも悪くはないか、親が何に使うかわからない。生まれたばかりの子にブックスタートなどがあるように、保育園や幼稚園の入園の際でも何歳になったらでもいいので、使えるものを配ったらどうか。護佐丸がついた体操着などを配れば、園外に出るときや村外で活動する時のアピールにもなるのでは。
神谷会長	ここから1人ずつご意見を聞いていきたいと思う。
米須委員	P1 人口目標。南上原の人口増加は理解しているが、今後この計画期間の中で具体的にどこの地区をどのくらい増やすとかはきまっているか。
事務局（比嘉係長）	地区別では考えていない。南上原の区画整理も終盤にきていて残地は9%程度。ここ数年、村内では年間100棟くらい新築の家が建っているが、そのうち35%が南上原で、65%はそれ以外なので、具体的にどこというよりも村全体が増えていくのかなと感じている。村としてどこの地区を集中してというのは今の所考えてない。
米須委員	下地区には道路が来るというのも聞いているので、そのあたりを集中的にやるのかと思ったがそういうわけではないのか。
事務局（比嘉係長）	国道329バイパスの周辺については、庁内の土地利用検討委員会で検討する。
儀間委員	P9 施策4「地域でいきいきくらしを創ります」の青枠の中の「関係機関への支援」の関係機関等は具体的にどこを想定しているか。また障がい者福祉の充実の中の「支援体制の整備」についても具体的にどこを想定しているのか。
事務局（比嘉係長）	基本は社会福祉協議会になると思う。それ以外の民間の施設など村が支援できる施設についてはやっていきたい。
事務局（比嘉課長）	担当課で既存で支援している団体と、課題などに応じて今後支援が必要になりそうな団体について実施計画で見に行くことになると思う。
神谷会長	儀間委員から、こういったところが必要なのではないかというアイデアがあればお伝えいただけたら。

儀間委員	福祉環境について満足しているという回答が半分くらいあったと思うが、福祉環境は高齢者も障がい者も全部含めての設問になっているという事だったので、それであれば満足の中身が分かりにくいと思う。例えば村内にはコミュニティセンターや社会福祉センターのようなものがないので、そういったものがあると福祉環境は良くなるのではないか。
神谷会長	社協はどこにあるのか。
事務局（比嘉係長）	吉の浦会館に間借りしている。
事務局（比嘉課長）	担当課でも福祉関係の計画を策定しているのでそこで実施できるものもあると思う。
比嘉春委員	中城小の子どもが増えていると聞くと、下地区の開発などが出来るようになっていて世帯数が増えているのか。
事務局（比嘉係長）	65%は南上原以外の新築だという話はしたが、既存集落以外でも周辺の緩和区域では第三者が土地を購入して家を建てる事ができることになっている。その開発が進んでいるので中城小も増えているのではないかと思う。
比嘉春委員	今後も下地区には力を入れていくのか。当間はまだ建てられない。
事務局（比嘉課長）	すぐ開発が出来るようになるかというと思うが、緩和区域の拡大等で建てられる場所が増えてきたらいいとは思っている。
伊東委員	中城村が好きというテーマがいいと思う。不満や足りない所を補うという方向よりは、村に住んでいるという魅力を増す方向の方がいいと思う。福祉などは担当がいて既に頑張っているのだから、総合計画では村自体の魅力をもっとアップできるようなことができたらいい。 今気になっているのが、城跡を329号から見た時に木に覆われていて見えない。生活道路から城壁が見えるのは中城や勝連くらいしかないと思うが、中城のシンボルのような城壁が日常的に目に入ると村民の村が好きという気持ちが高まったりするのではないかと思う。アンケートでも長く住んでいる方の方が不満が多いというのがあるが、慣れてしまっているのかなと思う。直接の満足度につながるかはわからないが、アピールにはなるのでは。
比嘉春委員	テレビで沖縄が好きかという質問があって、ほとんどの人が好きと答えていた。私も具体的に何が好きかと言われるとパッとでないが好き。地元だけど知らない中城の魅力もまだあると思うので、今ある財産を活かしていく視点は必要。
伊佐委員	目指す村の姿3。新垣在住で綱引きをしていたが、今はコロナでできなくなっている。コロナを悪い言い訳にして綱が編める人がいなくなってしまうのではないか。中期的にでも保全して発信して継承できるようにするのがいいと思う。具体的などころを施策の中に入れてもらえともっといいと思う。 目指す村の姿7、連携と協働の広域連携。市は色々な資源が集約されているのでいいが、町や村は一部の機能があったりなかったりする。高齢者施設や障がい者施設でも同じ。村内でやることと、周りと連携して進めていくことを整理して進めていくべき。総合計画では方向性として、積極的に近隣圏域と連携していくということを打ち出していけるといいのでは。福祉や教育の面でも役所が担う必要があるものが多くなっていて、発達支援センター、障害者支援センター、DVなどの相談センターなどいろいろ必要になっているが、村の規模で全てを網羅するのは難しい。
新垣委員	住みやすい環境やまちづくりを考える上ではまず子どもの支援をしてもらいたい。私も子どもは年子なので保育料や家賃を払っていたときは負担が大きかった。費用がかさむので、いくら支援があっても多すぎることはない。そのあたりの環境整備を進めていくことで村の人口もさらに増えていくのではないか。

	働きやすい環境づくりについては、7割が村外なので、企業誘致などうまくリンクさせながら、施策の中に盛り込んで計画をつくっていただければいいと思う。P11 施策 13。商工業の振興。企業誘致、企業立地について具体的に今後の展開の方向性など考えていれば聞きたい。
事務局（比嘉係長）	企業誘致の方向についてはお答えできるものがないが、10年くらい前から沖縄電力周辺を市街化編入しようという動きがあって、それができれば準工業系の用途になると思うので、企業立地ができるならあのあたりが核になると思う。商業施設については、旧役場の跡地や中学校が移転した後の跡地等はどうかという話はある。
新垣委員	パートの奥さんの働き口などの話があったが、そういった意味でも村内で企業誘致が出来るといいなという期待はしている。
比嘉善委員	中部広域では調整区域がほとんどなので申請しても時間がかかる。家が建てられないので村外に出るといふ人もいると思う。すぐに緩和は難しいと思うが、家が建てられるようになると人口増加や活性化、子どもの達のコミュニティなども広がっていくのではないかと感じている。
名幸委員	地域でやってほしいことを実現して継続するために、どう財源を確保していくかが重要。目指す村の姿7、行財政。今まで通りの内容では当たり前なので、今後の基本計画の中でどんな新たな方策が出てくるかは楽しみにしている。周辺市町村や中部広域、企業との連携もしていてもいいのでは。行政の思考だけでは思いつかなかったアイデアも出るのではないかと。基本計画にアンケートがどう生かされていくのかが見える所があればいい。P4 評価検証。KPI で見える化するのには良いことだが、それをどう検証していくのか。前期、中期、後期の見直し時期にやるのか、議会でやるのか、第三者を入れて毎年やるのかどう考えているのか。
事務局（比嘉係長）	第三者委員は考えてない。臆気だが、毎年 WEB アンケートなどが出来たらいいかなと思っている。
事務局（比嘉課長）	毎年各課で事業検証をしていくというはあるが、それを審議会や外部委員を入れて行うかというのはまだ不透明。
神谷会長	毎年役場内部で実施して、外部委員は基本計画や実施計画の見直しの際に入れてやった方がいいのかもしれない。
安田委員	アンケートのデータは良く分析しており、地区毎での違いなどがわかる。南上原は下地区や他の上地区と比べて利便性などの差が出てきている。ただ南上原が他の地区とかけ離れているかといえばそうではなくて、医療環境も買い物も良いと言われているが、他の地区でも出来ることからやっていけばいいのでは。気になるのは防災の部分で、上に上がる道がネックになっていると感じている。道が広くて整備されていけば、さらに良くなる。中学校から新垣へ抜ける道が以前は使えたと言っているが、今はうっそうとしているので、整備されれば避難経路としても使えるのではないかと。中学校の避難場所は今はゴルフ場になっているが、出来る所から施策に入れてやっていただければと思う。学校教育について小学校の新築はこの資料にはないがこれから出てくるのか。
事務局（比嘉課長）	進捗報告は審議会の中で出すことはできるが、中小、津覇小の工事については、既に決定して進むことが決まっているので総合計画の中には出てこないと思う。
安田委員	計画の見通しを村民が知ることが出来れば、中城は良くなっていくのがわかるので良いと思う。
事務局（比嘉係長）	基本計画には入れることはできると思う。検討する。
安田委員	P7 働き方。参考資料の就業者が 8801 人となっているが、無職やフリーターは数

	<p>えられるか。村の財源として納税者が多い方が良い。企業が来て村内で働ける場所があるとより良いが、他市町村に出ても、働けているのであればいいのでは。</p>
<p>神谷会長</p>	<p>無職の割合については調べられるか確認してもらえれば。</p> <p>学校については、西原バイパスの資料を出してもらったように、現状やスケジュールを出してもらおうと良い。計画期間中に村内で変わるとわかっていることについてはデータとして出してもらえの方が審議しやすい。</p> <p>これまで出た意見の中で、護佐丸の体操服を配るや、国道から城壁が見えるという話は、それそのものも効果があるし、副次的に中城や城跡のアピールや認知度向上にもつながっていくもの。県が出している観光統計実態調査によると、観光客が訪れる場所を決めるときに情報を得る方法は、以前はパンフレットや情報誌、次は SNS、今は以前来た時に気になった場所。効果が出るのは先かもしれないが、見える、気になるという場所になっていることは観光面ではプラス。高いところから海を見るカフェはあるが、下から中城城跡を見るカフェがあってもいいと思う。</p> <p>芸能でもそのものが受け継がれることを基本として、その祭事や芸能が伝えたかった事を地域の中で伝えてもらうことがコミュニティの強化にもつながる。</p> <p>つまり将来像から取組までダイレクトにブレイクダウンするだけではなく、ダイレクトな効果以外の効果を評価をしないといけない。クロスセクター効果、アンブレラ方式など。主目的に対する副次効果には評価をするし、副次作用ではマイナスに働くこともある。ものの見方は必要。基本計画へブレイクダウンするだけではなく、相乗効果が出るような施策の進め方を検討していただきたい。</p> <p>一つ一つに財政支援をするのは無理なので、小さい政府のやり方を進める。企業との連携、近隣市町村との連携、村内での連携などいろいろな所とうまくつながることが大事。それを表に出せるように。</p> <p>社会を取り巻く環境の所に、新沖縄 21 ビジョン、水防法の改正（災害時個別支援計画の策定など）、立地適正化計画など法制度なども変わってきているので、最低限しないといけないことは書かないといけない。逆に中城として少子ではないし、高齢者は増えていくだろうが、高齢化は進んでいるかの確認も必要。国内の他の地域と見比べた時に、中城の高齢化の進行度合いは今後 10 年でどうなりそうか。定年 65 歳は義務化、70 歳までは努力義務になっている。高齢者自体の考え方が今後変化していくと思う。高齢者は介護サービスの対象とみるのか、少なくとも 70 歳までは戦力なのか。一方で、現在元気な高齢者が地域の事を見てくれているが、その部分は手薄になるかもしれない。今後進んでいくであろう社会の中で村としてどう考えるかは整理しておく必要がある。</p> <p>農業については、農業は生産の場だけでなく、空間の価値づけや景観的なものとしての捉え方もある。</p> <p>アンケートにあった経済的負担については 3 世代同居はメリットが大きい。下地区の住宅問題なども言われているが、3 世代で住むことは高齢者支援や子育て支援も家庭内でできて村の負担が減る。という視点から 3 世代で住むことに対する支援なども取り入れてもいいと思う。上がった課題について包括的にみて施策を考えるとという視点が大切。連携と交流についても 3 世代同居だと家庭の中で世代間交流もできる。子どもの貧困として大家族の子どもは不幸せなのか。一概にそうではなく問題はネグレクトや DV、虐待など。以前は地域のつながりで回りの大人が気づいてくれていた部分もあるが、今はそれがなくなっているのが問題。そういった部分をどうやって総合計画で書いていくか。地域のコミュニティの維持や、子どもから高齢者までが会おう場、一緒に何かをする場の 1 つとしてコミ</p>

	<p>ユニティセンターのようなものがあつたほうが良いのかもしれない。場としての整備が難しいのであれば機会の創出や地域の行事の支援などによって人をつなげることのできる取組みを検討してもらえたら。</p> <p>担当課の整理が難しいかもしれないが、横断的に取り組めると限られた予算をうまく使うための方法になるのでは。村の課題とその本質、さらに村内外にある資源を見極めて、行政、民間関係なくうまくつなげて検討してもらえれば。</p> <p>参考資料の説明はしなくてもいいか。</p>
事務局（比嘉係長）	<p>参考資料1の議事録はお読みいただければ。参考資料2の西原バイパスについては、地権者説明終了、現在は基本設計が進んでいる状態で平成12年度の工事完了予定。バイパスが整備される上での西原側の周辺土地利用については庁内で検討を進めている状態。</p>
神谷会長	<p>計画の中で方向性は記載しなくていいか。</p>
事務局（比嘉係長）	<p>村としても市街化検討をするのか農地のままで行くのか方向性が決めきれていない。</p>
神谷会長	<p>必要に応じて、審議会でも意見を聞いてみたら良いと思う。</p> <p>他になれば、事務局にお返すする。</p>
事務局（比嘉係長）	<p>今回は8月下旬から9月上旬を予定している。今日のご意見をもとに修正した基本構想案について、7月中旬からパブリックコメントを実施する予定なので、委員の皆様もご意見いただければ。</p>

- 終了 -